

インデックスファンドMLP（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第71期（決算日 2019年12月20日）第73期（決算日 2020年2月20日）第75期（決算日 2020年4月20日）
第72期（決算日 2020年1月20日）第74期（決算日 2020年3月23日）第76期（決算日 2020年5月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「インデックスファンドMLP（毎月分配型）」は、2020年5月20日に第76期の決算を行ないましたので、第71期から第76期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産／インデックス型	
信託期間	2014年2月18日から2028年11月20日までです。	
運用方針	主として、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）やMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	インデックスファンドMLP（毎月分配型）	投資信託証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド MLP	MLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とします。
	マネー・アカウント・マザーファンド	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	インデックスファンドMLP（毎月分配型）	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	インデックス マザーファンド MLP	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マネー・アカウント・マザーファンド	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	第1計算期および第2計算期は収益分配を行ないません。第3計算期以降は、毎決算時、原則として分配対象額のみから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<642282>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P MLP 指数 (円換算ベース)		債券 組入比率	投資信託 組入比率	リミテッドパートナー (出資金) 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率				
	円	円	%	(ベンチマーク)	%	%	%	%	百万円
47期(2017年12月20日)	5,810	50	5.0	85.57	5.3	65.5	—	23.5	25,019
48期(2018年1月22日)	6,151	50	6.7	91.24	6.6	64.5	—	24.2	25,325
49期(2018年2月20日)	5,505	50	△ 9.7	82.23	△ 9.9	62.4	—	24.1	21,367
50期(2018年3月20日)	4,895	50	△ 10.2	73.92	△ 10.1	59.6	—	27.0	18,674
51期(2018年4月20日)	5,207	50	7.4	79.64	7.7	58.9	—	31.2	19,354
52期(2018年5月21日)	5,618	50	8.9	87.26	9.6	57.7	—	31.4	20,382
53期(2018年6月20日)	5,472	50	△ 1.7	85.92	△ 1.5	56.7	—	31.3	19,474
54期(2018年7月20日)	5,717	50	5.4	90.84	5.7	56.8	—	32.8	19,704
55期(2018年8月20日)	5,864	50	3.4	94.78	4.3	55.3	—	33.4	19,644
56期(2018年9月20日)	5,760	50	△ 0.9	93.79	△ 1.0	52.9	—	35.9	18,820
57期(2018年10月22日)	5,572	50	△ 2.4	91.56	△ 2.4	52.8	—	36.4	17,872
58期(2018年11月20日)	5,109	50	△ 7.4	85.08	△ 7.1	54.6	—	35.5	16,019
59期(2018年12月20日)	4,699	50	△ 7.0	78.86	△ 7.3	54.9	—	34.6	14,358
60期(2019年1月21日)	4,915	50	5.7	83.83	6.3	54.6	—	37.7	15,088
61期(2019年2月20日)	5,185	50	6.5	88.88	6.0	53.2	—	37.6	15,759
62期(2019年3月20日)	5,182	50	0.9	90.09	1.4	52.5	—	37.6	15,318
63期(2019年4月22日)	5,078	50	△ 1.0	89.42	△ 0.7	52.2	—	37.7	14,735
64期(2019年5月20日)	5,035	50	0.1	89.61	0.2	52.8	—	37.3	14,456
65期(2019年6月20日)	4,721	50	△ 5.2	85.09	△ 5.0	53.0	—	37.2	13,383
66期(2019年7月22日)	4,848	50	3.7	88.52	4.0	53.0	—	37.1	13,611
67期(2019年8月20日)	4,439	50	△ 7.4	82.25	△ 7.1	52.3	—	37.2	12,444
68期(2019年9月20日)	4,545	50	3.5	85.30	3.7	51.6	—	39.1	12,700
69期(2019年10月21日)	4,216	50	△ 6.1	80.03	△ 6.2	50.9	—	39.7	11,698
70期(2019年11月20日)	3,804	50	△ 8.6	73.59	△ 8.0	51.4	—	38.9	10,193
71期(2019年12月20日)	4,142	50	10.2	81.35	10.6	50.0	—	42.1	11,861
72期(2020年1月20日)	4,270	50	4.3	84.83	4.3	49.2	—	42.2	12,392
73期(2020年2月20日)	3,918	50	△ 7.1	77.90	△ 8.2	38.7	—	30.2	12,387
74期(2020年3月23日)	1,840	50	△ 51.8	36.17	△ 53.6	41.0	—	41.1	5,953
75期(2020年4月20日)	2,189	20	20.1	42.93	18.7	32.4	22.4	39.3	8,486
76期(2020年5月20日)	2,673	20	23.0	53.19	23.9	33.0	22.7	42.6	10,737

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「リミテッドパートナー（出資金）組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「S&P MLP 指数」は、ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するMLPなどのうち、GICS（世界産業分類基準）においてエネルギーセクターまたは公益事業セクターのガス産業に属する銘柄を対象とした、浮動株調整後の時価総額加重を基本とする指数です。同指数の（円換算ベース）とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年5月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		S & P M L P 指数 (円換算ベース)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	リミテッドパートナー (出資金) 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
第71期	(期 首)	円	%		%	%	%	%
	2019年11月20日	3,804	—	73.59	—	51.4	—	38.9
	11月末	3,933	3.4	76.14	3.5	51.6	—	38.9
	(期 末) 2019年12月20日	4,192	10.2	81.35	10.6	50.0	—	42.1
第72期	(期 首)							
	2019年12月20日	4,142	—	81.35	—	50.0	—	42.1
	12月末	4,192	1.2	82.10	0.9	50.1	—	42.1
第73期	(期 首)							
	2020年1月20日	4,320	4.3	84.83	4.3	49.2	—	42.2
	1月末	4,270	—	84.83	—	49.2	—	42.2
第74期	(期 首)							
	2020年2月20日	3,918	△ 8.3	77.82	△ 8.3	54.7	—	33.3
	2月末	3,968	△ 7.1	77.90	△ 8.2	38.7	—	30.2
第75期	(期 首)							
	2020年3月23日	1,890	△ 51.8	36.17	△ 53.6	41.0	—	41.1
	3月末	1,840	—	36.17	—	41.0	—	41.1
第76期	(期 首)							
	2020年4月20日	2,209	20.1	42.93	18.7	32.4	22.4	39.3
	4月末	2,641	20.6	51.93	21.0	33.6	22.6	42.2
第77期	(期 首)							
	2020年5月20日	2,693	23.0	53.19	23.9	33.0	22.7	42.6

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

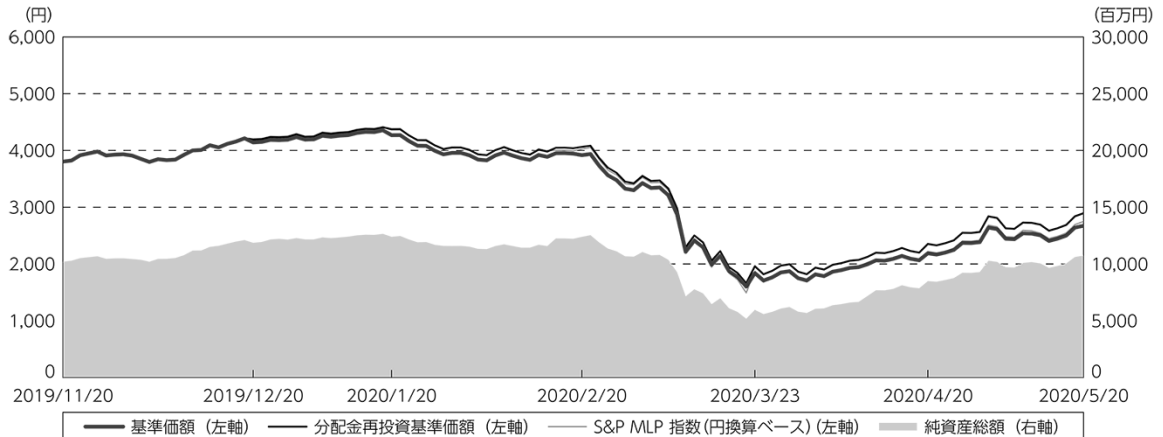
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「リミテッドパートナー（出資金）組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2019年11月21日～2020年5月20日)

作成期間中の基準価額等の推移



第71期首： 3,804円

第76期末： 2,673円 (既払分配金(税込み) : 240円)

騰落率：△ 23.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS&P MLP 指数(円換算ベース)は、作成期首(2019年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) S&P MLP 指数(円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国の長期金利の低下によってMLPの相対的な高利回りの魅力が高まったこと。
- ・米中貿易協議での「第1段階」とされる部分合意や英国総選挙での与党保守党の大勝などから主要な政治的不透明感が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まったこと(期間の初め～2020年1月上旬)。

<値下がり要因>

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界的な景気減速懸念が強まったことや、主要産油国の協調減産

が合意できなかったことなどを背景に、原油価格が下落したこと。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大や米国景気の下振れ懸念などを背景に株式市場が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと（2020年1月中旬～3月中旬）。
- ・円高/アメリカドル安が進行したこと。

投資環境

（MLP市況）

米国MLP市況において、S&P MLP 指数は期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2020年1月上旬にかけては、石油輸出国機構（OPEC）加盟国とロシアなど主要産油国による協調減産拡大での合意などを受けて原油価格が堅調に推移したことや、米中貿易協議での「第1段階」とされる部分合意や英国総選挙での与党保守党の大勝などから主要な政治的不透明感が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まったこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を据え置き、米国金利の当面の先高観が緩和されてMLPの相対的な高利回りの魅力が高まったことなどから、同指数は上昇しました。1月中旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした世界的な景気減速から原油需要が抑制されるとの懸念や、OPEC月報での2020年の世界の原油需要見通しの下方修正、OPEC加盟国とそれ以外の主要産油国で構成するOPECプラスが追加減産で合意できず、サウジアラビアなどの主要産油国が増産の意向を示したことなどが重しとなって原油価格が下落したことや、新型コロナウイルスの感染拡大や市場予想を下回る経済指標を受けた米国景気の下振れ懸念などを背景に株式市場が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、同指数は下落しました。3月下旬から期間末にかけては、新型コロナウイルス感染者数の増加ペースの鈍化や経済活動の再開への期待の高まりなどから株式市場が上昇し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことや、欧米諸国での活動制限を緩和する動きを受けた原油需要回復への期待などから原油価格が上昇したこと、FRBによる緊急資金供給策の発表などを背景に米国の長期金利が低下したことなどを好感して、同指数は上昇しました。

（国内短期金利市況）

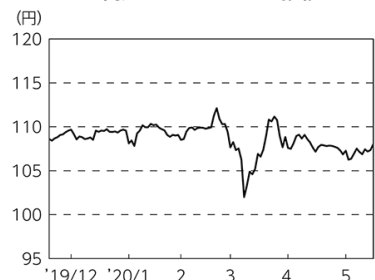
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.22%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.13%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円/アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「インデックス マザーファンド MLP」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（インデックス マザーファンド MLP）

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、23.9%（分配金再投資ベース）の値下がりとなり、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」の下落率27.7%を概ね3.8%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

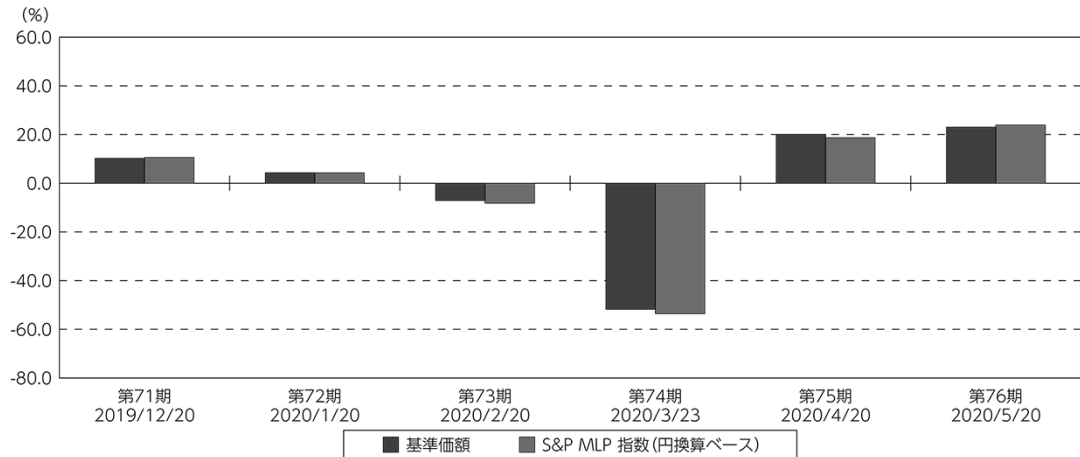
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外コストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。
- ・信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P MLP 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日
当期分配金	50	50	50	50	20	20
（対基準価額比率）	1.193%	1.157%	1.260%	2.646%	0.905%	0.743%
当期の収益	13	31	50	14	16	20
当期の収益以外	36	18	—	35	3	—
翌期繰越分配対象額	1,489	1,471	1,501	1,467	1,465	1,486

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「インデックス マザーファンド MLP」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（インデックス マザーファンド MLP）

引き続き、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年5月20日)

項 目	第71期～第76期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	13	0.410	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(6)	(0.191)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.191)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.222	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(4)	(0.107)	
（リミテッドパートナー（出資金））	(4)	(0.115)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（リミテッドパートナー（出資金））	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.085	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(2)	(0.046)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.027)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	23	0.718	
作成期間の平均基準価額は、3,286円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

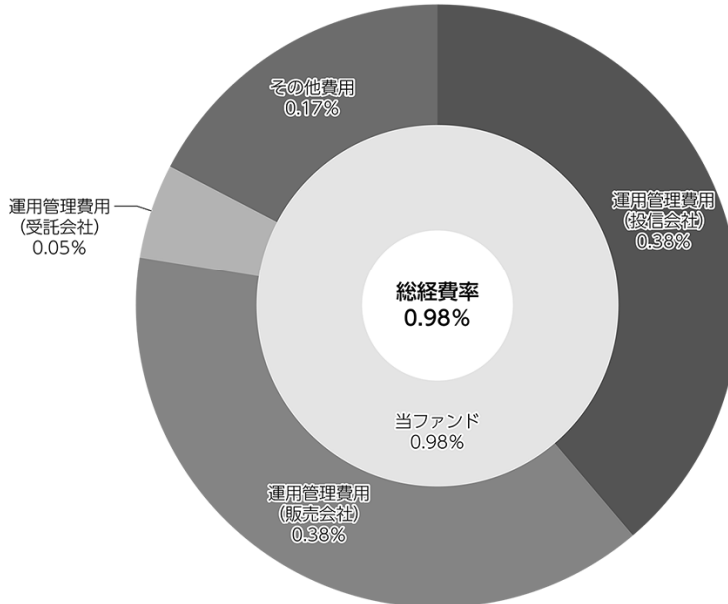
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100 を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年5月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第71期～第76期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インデックス マザーファンド MLP	千口 8,060,364	千円 4,173,243	千口 2,180,441	千円 1,200,693
マネー・アカウント・マザーファンド	6,969	6,987	7,848	7,869

○株式売買比率

(2019年11月21日～2020年5月20日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年5月20日)

利害関係人との取引状況

<インデックスファンドMLP（毎月分配型）>

区分	第71期～第76期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 19	百万円 19	% 100.0	百万円 19	百万円 19	% 100.0

<インデックス マザーファンド MLP>

区分	第71期～第76期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 112	百万円 112	% 100.0	百万円 112	百万円 112	% 100.0

平均保有割合 66.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区 分	第71期～第76期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
金銭信託	百万円 103	百万円 103	100.0	百万円 103	百万円 103	100.0

平均保有割合 1.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2019年11月21日～2020年5月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2019年11月21日～2020年5月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2020年5月20日現在）

親投資信託残高

銘 柄	第70期末	第76期末	
	口 数	口 数	評 価 額
インデックス マザーファンド MLP	千口 15,312,819	千口 21,192,742	千円 10,630,279
マネー・アカウント・マザーファンド	10,436	9,557	9,582

（注）各親投資信託の2020年5月20日現在の受益権総口数は、以下の通りです。

・インデックス マザーファンド MLP 25,540,876千口 ・マネー・アカウント・マザーファンド 676,169千口

○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	第76期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インデックス マザーファンド MLP	10,630,279	98.1
マネー・アカウント・マザーファンド	9,582	0.1
コール・ローン等、その他	200,378	1.8
投資信託財産総額	10,840,239	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インデックス マザーファンド MLPにおいて、当作成期末における外貨建純資産(12,783,166千円)の投資信託財産総額(13,017,678千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=107.98円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末
	2019年12月20日現在	2020年1月20日現在	2020年2月20日現在	2020年3月23日現在	2020年4月20日現在	2020年5月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	12,094,949,911	12,574,057,681	12,573,586,383	6,166,530,806	8,573,071,679	10,840,239,178
コール・ローン等	138,923,967	145,735,380	300,371,356	73,576,411	97,115,255	122,347,552
インデックスマザーファンドMLP(評価額)	11,735,795,724	12,266,092,691	12,260,871,006	5,878,464,243	8,403,766,748	10,630,279,464
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	11,498,780	12,369,316	12,344,021	6,770,839	8,229,401	9,582,105
未収入金	208,731,440	149,860,294	—	207,719,313	63,960,275	78,030,057
(B) 負債	233,402,908	181,504,481	185,765,875	213,023,122	86,186,333	103,000,489
未払収益分配金	143,189,854	145,117,760	158,079,891	161,823,961	77,556,499	80,333,559
未払解約金	81,998,015	25,898,157	16,619,550	40,975,476	268,112	11,276,994
未払信託報酬	7,326,791	8,597,434	8,224,225	6,622,631	4,277,481	6,536,150
未払利息	176	20	90	57	94	201
その他未払費用	888,072	1,891,110	2,842,119	3,600,997	4,084,147	4,853,585
(C) 純資産総額(A-B)	11,861,547,003	12,392,553,200	12,387,820,508	5,953,507,684	8,486,885,346	10,737,238,689
元本	28,637,970,806	29,023,552,199	31,615,978,287	32,364,792,355	38,778,249,981	40,166,779,878
次期繰越損益金	△16,776,423,803	△16,630,998,999	△19,228,157,779	△26,411,284,671	△30,291,364,635	△29,429,541,189
(D) 受益権総口数	28,637,970,806口	29,023,552,199口	31,615,978,287口	32,364,792,355口	38,778,249,981口	40,166,779,878口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,142円	4,270円	3,918円	1,840円	2,189円	2,673円

(注) 当ファンドの第71期首元本額は26,795,600,326円、第71～76期中追加設定元本額は16,975,606,677円、第71～76期中一部解約元本額は3,604,427,125円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第71期0.4142円、第72期0.4270円、第73期0.3918円、第74期0.1840円、第75期0.2189円、第76期0.2673円です。

(注) 2020年5月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は29,429,541,189円です。

○損益の状況

項 目	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 2,470	△ 4,444	△ 1,215	△ 2,643	△ 1,034	△ 3,350
受取利息	8	—	—	—	43	—
支払利息	△ 2,478	△ 4,444	△ 1,215	△ 2,643	△ 1,077	△ 3,350
(B) 有価証券売買損益	1,075,720,495	521,463,215	△ 839,146,933	△ 6,431,936,609	1,365,486,378	1,976,851,394
売買益	1,095,675,042	526,234,959	18,611,582	101,444,831	1,365,872,008	1,987,100,891
売買損	△ 19,954,547	△ 4,771,744	△ 857,758,515	△ 6,533,381,440	△ 385,630	△ 10,249,497
(C) 信託報酬等	△ 8,215,032	△ 9,639,534	△ 9,221,080	△ 7,425,359	△ 4,796,001	△ 7,328,390
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	1,067,502,993	511,819,237	△ 848,369,228	△ 6,439,364,611	1,360,689,343	1,969,519,654
(E) 前期繰越損益金	△12,691,144,077	△11,421,145,123	△10,776,281,543	△11,504,259,306	△18,010,665,781	△16,518,425,920
(F) 追加信託差損益金	△ 5,009,592,865	△ 5,576,555,353	△ 7,445,427,117	△ 8,305,836,793	△13,563,831,698	△14,800,301,364
(配当等相当額)	(4,369,456,756)	(4,321,838,648)	(4,651,431,643)	(4,783,287,178)	(5,689,394,832)	(5,886,071,989)
(売買損益相当額)	(△ 9,379,049,621)	(△ 9,898,394,001)	(△12,096,858,760)	(△13,089,123,971)	(△19,253,226,530)	(△20,686,373,353)
(G) 計 (D+E+F)	△16,633,233,949	△16,485,881,239	△19,070,077,888	△26,249,460,710	△30,213,808,136	△29,349,207,630
(H) 収益分配金	△ 143,189,854	△ 145,117,760	△ 158,079,891	△ 161,823,961	△ 77,556,499	△ 80,333,559
次期繰越損益金 (G+H)	△16,776,423,803	△16,630,998,999	△19,228,157,779	△26,411,284,671	△30,291,364,635	△29,429,541,189
追加信託差損益金	△ 5,114,947,240	△ 5,629,034,534	△ 7,445,427,117	△ 8,342,217,872	△13,579,023,542	△14,800,301,364
(配当等相当額)	(4,264,418,041)	(4,270,020,444)	(4,668,977,714)	(4,748,398,951)	(5,682,581,628)	(5,891,284,660)
(売買損益相当額)	(△ 9,379,365,281)	(△ 9,899,054,978)	(△12,114,404,831)	(△13,090,616,823)	(△19,261,605,170)	(△20,691,586,024)
分配準備積立金	—	—	78,987,404	—	—	78,214,066
繰越損益金	△11,661,476,563	△11,001,964,465	△11,861,718,066	△18,069,066,799	△16,712,341,093	△14,707,453,891

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年11月21日～2020年5月20日)は以下の通りです。

項 目	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月20日	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	37,835,479円	92,638,579円	237,067,295円	48,322,255円	62,364,655円	158,547,625円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,369,772,416円	4,322,499,625円	4,668,977,714円	4,784,780,030円	5,697,773,472円	5,891,284,660円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	0円	77,120,627円	0円	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,407,607,895円	4,415,138,204円	4,906,045,009円	4,910,222,912円	5,760,138,127円	6,049,832,285円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,539円	1,521円	1,551円	1,517円	1,485円	1,506円
g. 分配金	143,189,854円	145,117,760円	158,079,891円	161,823,961円	77,556,499円	80,333,559円
h. 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	20円	20円

○お知らせ

約款変更について

2019年11月21日から2020年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

インデックス マザーファンド MLP

運用報告書

第6期（決算日 2019年11月20日）
（2018年11月21日～2019年11月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年2月18日から原則無期限です。
運用方針	主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）やMLPに関連する証券に投資し、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	MLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し、委託者の判断により決定するものとします。

運用にあたって、対象指数に採用されていないMLPなどについても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されているMLPなどの一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637195>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P M L P 指数 (円換算ベース)		債組入比率	券率	リミテッドパートナー (出資金) 組入比率	純総資産額
	期騰	期中率	(ベンチマーク)	期騰落率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
2期(2015年11月20日)	8,719	△35.1	89.50	△33.9	85.6	9.4	88,217	
3期(2016年11月21日)	8,073	△7.4	85.97	△3.9	72.4	18.9	72,757	
4期(2017年11月20日)	7,519	△6.9	81.24	△5.5	65.3	23.9	50,319	
5期(2018年11月20日)	7,732	2.8	85.08	4.7	55.2	35.9	31,258	
6期(2019年11月20日)	6,581	△14.9	73.59	△13.5	52.0	39.4	22,310	

(注)「S&P MLP 指数」は、ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するMLPなどのうち、GICS（世界産業分類基準）においてエネルギーセクターまたは公益事業セクターのガス産業に属する銘柄を対象とした、浮動株調整後の時価総額加重を基本とする指数です。同指数の（円換算ベース）とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2019年11月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P M L P 指数 (円換算ベース)		債組入比率	券率	リミテッドパートナー (出資金) 組入比率
	騰落	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率			
(期首) 2018年11月20日	円	%		%	%	%	%
	7,732	—	85.08	—	55.2	35.9	
11月末	7,753	0.3	85.20	0.1	54.9	36.2	
12月末	6,753	△12.7	74.25	△12.7	55.2	35.1	
2019年1月末	7,644	△1.1	84.37	△0.8	54.3	38.8	
2月末	7,869	1.8	86.39	1.5	53.3	38.2	
3月末	8,073	4.4	88.91	4.5	52.7	38.1	
4月末	8,141	5.3	89.77	5.5	53.0	37.7	
5月末	7,751	0.2	85.55	0.6	53.1	37.7	
6月末	7,726	△0.1	85.39	0.4	53.8	37.5	
7月末	7,925	2.5	87.94	3.4	53.5	37.4	
8月末	7,336	△5.1	81.56	△4.1	52.4	37.9	
9月末	7,468	△3.4	82.92	△2.5	52.1	39.6	
10月末	7,085	△8.4	78.94	△7.2	51.7	38.6	
(期末) 2019年11月20日	6,581	△14.9	73.59	△13.5	52.0	39.4	

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年11月21日～2019年11月20日)

基準価額の推移

期間の初め7,732円の基準価額は、期間末に6,581円となり、騰落率は△14.9%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・石油輸出国機構（OPEC）とロシアによる原油減産や一部の産油国の政治情勢の不安などを背景に原油価格が上昇したこと（2019年1月上旬～4月下旬）。
- ・米国において良好な経済指標の発表などを受けて株式市場が上昇したこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）の2019年内の政策金利据え置きの見通しや利下げ観測の継続などから、米国の長期金利が低下したこと。
- ・MLPの買収の動きが相ついただこと。

<値下がり要因>

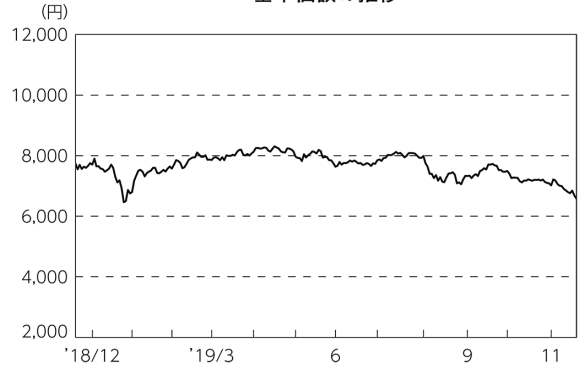
- ・中国の通信機器大手企業幹部の逮捕や、米国大統領による対中追加関税「第4弾」の発表などを契機に、米中貿易摩擦の激化が懸念されたこと。
- ・一部のMLPの業績が市場予想を下回ったことや、減配を発表したこと。
- ・円高ノアメリカドル安が進行したこと。

(MLP市況)

米国MLP市況において、S&P MLP 指数は期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2018年12月下旬にかけては、世界経済の減速に伴う需要の減少懸念などから原油価格が下落したことや、景気減速懸念を受けて米国株式市場が下落したこと、中国の通信機器大手企業幹部の逮捕を契機に米中間の貿易摩擦に対する懸念が再燃したことなどを背景に、S&P MLP 指数は下落しました。2019年1月上旬から7月中旬にかけては、一部のMLPによる市場予想を下回る業績や減配の発表などがMLP価格の重しとなった一方で、OPECとロシアによる原油減産や一部の産油国の政治情勢の不安などを背景に原油価格が上昇したことや、米国において良好な経済指標の発表などを受けて株式市場が上昇したこと、FRBの2019年内の政策金利据え置きの見通しや利下げ観測の継続などを背景に米国の長期金利が低下し、MLPの相対的な高利回りに対する魅力が高まったこと、MLPの買収の動きが相ついただことなどから、S&P MLP 指数は上昇しました。7月下旬から期間末にかけては、米国大統領による対中追加関税「第4弾」の発表を契機に米中貿易摩擦の一段の激化が懸念され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、大手MLPの業績が市場予想を下回ったこと、10月中旬以降、期間末にかけて米国金利が上昇したことで、MLPの相対的な高利回りに対する魅力が低下したことなどから、S&P MLP 指数は下落しました。

基準価額の推移

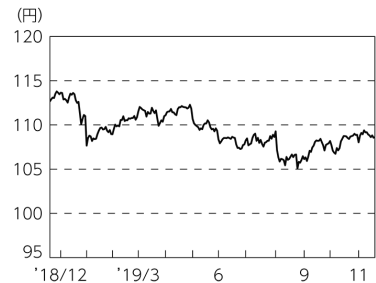


期 首	期中高値	期中安値	期 末
2018/11/20	2019/04/15	2018/12/25	2019/11/20
7,732円	8,307円	6,464円	6,581円

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



ポートフォリオ

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、14.9%の値下がりとなり、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」の下落率13.5%を概ね1.4%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

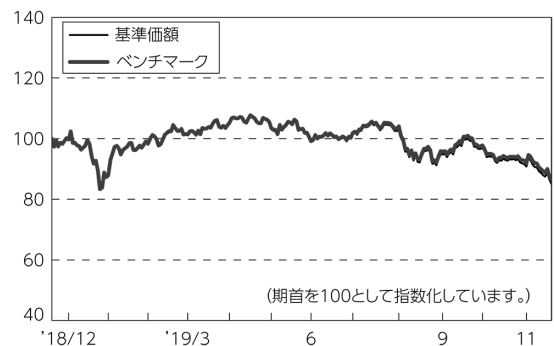
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外カस्टディ・フィーや売買手数料などの諸費用。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

引き続き、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (リミテッドパートナー (出資金))	円 4 (0) (3)	% 0.048 (0.003) (0.045)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (リミテッドパートナー (出資金))	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (4) (3)	0.095 (0.050) (0.045)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	11	0.143	
期中の平均基準価額は、7,627円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月21日～2019年11月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 430	千アメリカドル 581	百株 1,160	千アメリカドル 1,637

(注) 金額は受け渡し代金。

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債(投資法人債券を含む)	千アメリカドル 15,594	千アメリカドル 32,430

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

リミテッドパートナー(出資金)

			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ		口 1,425,000 (642)	千アメリカドル 34,527 (△ 236)	口 1,601,067 (250)	千アメリカドル 35,498 (399)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年11月21日～2019年11月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	248,092千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	134,653千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.84

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月21日～2019年11月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 11,364	百万円 11,364	% 100.0	百万円 11,364	百万円 11,364	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年11月21日～2019年11月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年11月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 210,988	千アメリカドル 106,752	千円 11,594,421	% 52.0	% —	% 33.8	% 18.2	% —
合 計	210,988	106,752	11,594,421	52.0	—	33.8	18.2	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
		千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
(アメリカ) 普通社債券(含む投資法人債券)	%				
C-TRACKS P MIF INDY-ETN	—	40,725	18,660	2,026,683	2023/9/28
CS S&P MLP IDX-ETN	—	41,900	18,746	2,036,064	2034/12/4
ET2X LEV S&P MLP IDX-ETN	—	18,200	15,449	1,677,966	2046/2/12
IPATH S&P MLP-ETN	—	34,715	19,280	2,094,093	2042/12/15
JPM ALERIAN MLP INDY-ETN	—	17,627	18,751	2,036,600	2024/5/24

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
		千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
(アメリカ) 普通社債券(含む投資法人債券)	%				
MS CUSHING MLP INDY-ETN	—	57,819	15,864	1,723,013	2031/3/21
合 計				11,594,421	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

リミテッドパートナー（出資金）

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率		
	口 数	口 数	評 価 額				
			外貨建金額 千アメリカドル	邦貨換算金額 千円			
(アメリカ)	口	口			%		
AMERIGAS PARTNERS-LP	33,000	—	—	—	—		
ANTERO MIDSTREAM CORP	73,000	—	—	—	—		
ANDEAVOR LOGISTICS LP-LP	16,000	—	—	—	—		
ANTERO MIDSTREAM PARTNERS LP -LP	49,000	—	—	—	—		
BLACK STONE MINERALS-LP	64,000	83,000	991	107,634	0.5		
BP MIDSTREAM PARTNERS LP -LP	30,000	6,000	89	9,696	0.0		
BUCKEYE PARTNERS-LP	92,000	—	—	—	—		
CNX MIDSTREAM PARTNERS LP	5,000	—	—	—	—		
CRESTWOOD EQUITY PARTNERS LP-LP	6,000	23,000	716	77,863	0.3		
CVR REFINING LP-LP	25,000	—	—	—	—		
DCP MIDSTREAM LP-LP	47,000	13,000	273	29,735	0.1		
ENERGY TRANSFER-LP	1,422,400	1,481,400	16,858	1,830,983	8.2		
ENBRIDGE ENERGY MANAGEMENT-LLC	88,067	—	—	—	—		
ENLINK MIDSTREAM LLC-LLC	60,000	281,600	1,320	143,441	0.6		
ENLINK MIDSTREAM PARTNERS LP-LP	223,000	—	—	—	—		
ENBRIDGE ENERGY PARTNERS LP	15,000	—	—	—	—		
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS-LP	818,400	725,400	18,243	1,981,460	8.9		
EQM MIDSTREAM PARTNERS LP	11,000	14,000	320	34,789	0.2		
GASLOG PARTNERS-LP	—	19,000	294	32,006	0.1		
GENESIS ENERGY L. P. -LP	82,000	45,000	812	88,267	0.4		
HI-CRUSH PARTNERS LP-LP	37,000	—	—	—	—		
HOEGH LNG PARTNERS LP-LP	—	13,000	187	20,331	0.1		
MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS-LP	161,000	207,000	12,246	1,330,051	6.0		
MPLX LP-LP	133,240	201,240	4,554	494,616	2.2		
NGL ENERGY PARTNERS LP-LP	—	11,000	109	11,911	0.1		
NUSTAR ENERGY LP	78,850	34,850	976	106,019	0.5		
PHILLIPS 66 PARTNERS LP-LP	—	43,000	2,335	253,686	1.1		
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A-LP	168,647	180,647	3,092	335,895	1.5		
PLAINS ALL AMERICAN PIPELINE LP	368,000	293,000	4,972	540,031	2.4		
SHELL MIDSTREAM PARTNERS-LP	23,000	61,000	1,202	130,649	0.6		
SPECTRA ENERGY PARTNERS LP-LP	37,000	—	—	—	—		
SUBURBAN PROPANE PARTNERS LP-LP	43,000	45,000	1,029	111,775	0.5		
SUNOCO LP-LP	—	9,000	281	30,546	0.1		
TALLGRASS ENERGY-LP	91,000	97,000	1,717	186,577	0.8		
TC PIPELINES LP-LP	39,000	33,000	1,301	141,358	0.6		
TEEKAY LNG PARTNERS LP-LP	33,000	51,000	781	84,859	0.4		
USA COMPRESSION PARTNERS LP-LP	—	8,000	133	14,545	0.1		
WESTERN MIDSTREAM PARTNERS L-LP	—	140,675	2,509	272,572	1.2		
WESTERN MIDSTREAM OPERATING-LP	37,000	—	—	—	—		
CHENIERE ENERGY PARTNERS LP-LP	—	18,000	725	78,844	0.4		
ALLIANCE RESOURCE PARTNERS-LP	26,519	56,519	660	71,698	0.3		
CALUMET SPECIALTY PRODUCTS-LP	43,000	—	—	—	—		
GOLAR LNG PARTNERS LP-LP	—	47,000	429	46,605	0.2		
MARTIN MIDSTREAM PARTNERS LP-LP	18,000	—	—	—	—		
RATTLER MIDSTREAM-LP	—	20,000	285	31,040	0.1		
VIPER ENERGY PARTNERS-LP	38,000	64,000	1,431	155,494	0.7		
合 計	口 数	金 額	4,535,123	4,325,331	80,885	8,784,991	
	銘柄数 < 比率 >		36	31	—	< 39.4% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

○投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	11,594,421	51.5
リミテッドパートナー（出資金）	8,784,991	39.0
コール・ローン等、その他	2,133,610	9.5
投資信託財産総額	22,513,022	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（20,692,338千円）の投資信託財産総額（22,513,022千円）に対する比率は91.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=108.61円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	24,318,430,683	
コール・ローン等	2,046,438,130	
公社債(評価額)	11,594,421,842	
リミテッドパートナー(出資金)(評価額)	8,784,991,126	
未収入金	1,849,874,836	
未収配当金	42,704,749	
(B) 負債	2,007,647,472	
未払金	1,805,470,150	
未払解約金	202,174,928	
未払利息	2,394	
(C) 純資産総額(A-B)	22,310,783,211	
元本	33,902,281,564	
次期繰越損益金	△11,591,498,353	
(D) 受益権総口数	33,902,281,564口	
1万口当たり基準価額(C/D)	6,581円	

(注) 当ファンドの期首元本額は40,427,022,639円、期中追加設定元本額は3,889,689,544円、期中一部解約元本額は10,414,430,619円です。

(注) 2019年11月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	15,312,819,140円
・MLPインデックスファンド(SMA専用)	11,934,258,840円
・FOF系用MLPインデックスファンド(適格機関投資家専用)	3,325,601,696円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	3,043,895,689円
・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	285,706,199円

(注) 1口当たり純資産額は0.6581円です。

(注) 2019年11月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は11,591,498,353円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○損益の状況 (2018年11月21日～2019年11月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	2,134,985,850	
受取配当金	650,033,528	
受取利息	1,231,650,366	
その他収益金	253,741,253	
支払利息	△ 439,297	
(B) 有価証券売買損益	△ 6,014,871,642	
売買益	327,338,760	
売買損	△ 6,342,210,402	
(C) 保管費用等	△ 27,097,123	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,906,982,915	
(E) 前期繰越損益金	△ 9,168,027,695	
(F) 追加信託差損益金	△ 972,510,711	
(G) 解約差損益金	2,456,022,968	
(H) 計(D+E+F+G)	△11,591,498,353	
次期繰越損益金(H)	△11,591,498,353	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2018年11月21日から2019年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2019年2月21日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(附表)
- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年2月21日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第51条)

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年10月15日）
（2018年10月13日～2019年10月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
6期(2015年10月13日)	円		%	%	百万円
	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2018年10月12日	10,032		—
10月末	10,032		0.0
11月末	10,032		0.0
12月末	10,031		△0.0
2019年1月末	10,031		△0.0
2月末	10,030		△0.0
3月末	10,030		△0.0
4月末	10,030		△0.0
5月末	10,029		△0.0
6月末	10,029		△0.0
7月末	10,028		△0.0
8月末	10,028		△0.0
9月末	10,028		△0.0
(期 末)			
2019年10月15日	10,028		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年10月13日～2019年10月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,032円の基準価額は、期間末に10,028円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.29%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

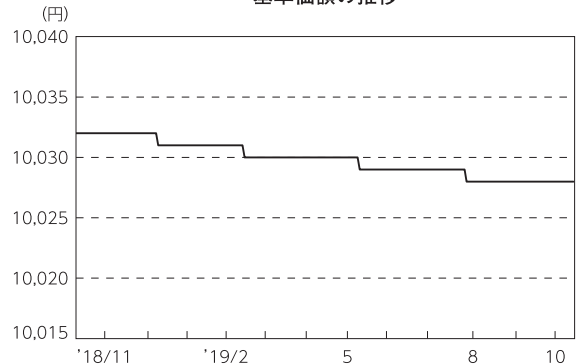
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2018/10/12	2018/10/15	2019/07/29	2019/10/15
10,032円	10,032円	10,028円	10,028円

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、10,029円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年10月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 587,539	% 100.0
投資信託財産総額	587,539	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月15日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				587,539,135
	コーポ・ローン等			587,539,135
(B) 負債				566,667
	未払解約金			566,564
	未払利息			103
(C) 純資産総額(A-B)				586,972,468
	元本			585,356,899
	次期繰越損益金			1,615,569
(D) 受益権総口数				585,356,899口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,028円

(注) 当ファンドの期首元本額は594,074,221円、期中追加設定元本額は238,040,716円、期中一部解約元本額は246,758,038円です。

(注) 2019年10月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	206,424,997円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	623,465円
・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	202,343,309円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	519,821円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	20,897,941円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	484,618円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	20,061,866円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	466,936円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	13,870,727円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	454,107円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	11,942,765円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	434,138円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	10,967,392円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	413,586円
・エマーゼンダ・プラス(マネーボールファンド)	10,557,157円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	377,932円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,368,109円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	361,850円
・世界標準債券ファンド	9,573,068円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	189,420円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,592,716円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	164,194円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	7,033,730円	・グローバル株式トップフォーカス	121,897円
・エマーゼンダ・プラス・成長戦略コース	6,712,463円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	109,758円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマーゼンダ)	99,902円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	5,813,207円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり	98,529円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,439,097円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	63,097円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,102,333円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	61,585円
・グリーン世銀債ファンド	2,959,931円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	53,524円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,620,710円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	37,483円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,534,133円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,763,739円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・エマーゼンダ・プラス・円戦略コース	1,734,939円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・SMB C・日興世銀債ファンド	1,691,081円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし	19,536円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,668,669円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	14,422円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,473,949円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし	10,129円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,125,339円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,080,880円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,937円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,055,594円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	1,034,578円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり	4,033円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	822,374円		
・日興グラビティ・ファンド	765,053円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0028円です。

○損益の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益	△	226,411
	受取利息		1,324
	支払利息	△	227,735
(B)	保管費用等	△	26,156
(C)	当期損益金(A+B)	△	252,567
(D)	前期繰越損益金		1,925,202
(E)	追加信託差損益金		688,138
(F)	解約差損益金	△	745,204
(G)	計(C+D+E+F)		1,615,569
	次期繰越損益金(G)		1,615,569

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2018年10月13日から2019年10月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年1月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第47条)